

<b>A. 研修事業</b> .....	<b>1</b>
1. 国際研修.....	1
2. 研修生へのフォローアップ事業.....	1
1) 英文ニュースレターの発行	
2) リユニオンセミナー（国別研修生会合）の開催	
3) 国際ワークショップ	
4) その他のフォローアップ	
3. 地域保健推進のための協働事業.....	2
①スリランカ	
②スリランカ	
③フィリピン	
④フィリピン	
⑤ネパール	
⑥パキスタン	
4. アジア各国間での学び合い促進.....	4
5. その他.....	4
<b>B. 国内活動</b> .....	<b>4</b>
1. アジア理解プログラム.....	4
1) オープンハウス	
2) 初めて始めて講座	
3) A H I 講座	
4) アジアの N G O ワーカーと語る集い	
5) 巡回交流会	
6) スタディツアー	
7) 小学校への出前講座	
8) A H I 女子会	
2. 情報および体験機会の提供.....	6
1) 情報誌『アジアの健康』の発行	
2) 情報誌『アジアの子ども』の発行	
3) ホームページ運営とインターネットの活用	
4) ボランティア/インターン受入れ	
3. 他団体との協力.....	6
1) 他団体への講師派遣	
2) 団体・ネットワークへの加盟	
3) 他団体との協力による政策提言活動	
4. その他.....	7
<b>C. 法人運営</b> .....	<b>8</b>
1. 理事会・評議員会.....	8
2. 賛助会員募集・募金活動.....	8

## A. 研修事業

2014年度は、元研修生との協働事業として、リユニオンセミナー（元研修生会合）及び国際ワークショップを実施した。いずれも元研修生の発意を基にしており、特に後者は関係団体など多くの理解と協力を要するため、準備に時間を要するが、今後も元研修生との日常的なやりとりを大切にしながら、そこから様々な可能性を拾いだし、その後の展開につなげたい。

### 1. 国際研修

期間：2014年9月7日～10月13日

場所：アジア保健研修所（AHI）

参加者：保健・開発分野の地域活動に従事するNGO職員・住民組織のリーダーなど12名（女性9名、男性3名）

内訳：バングラデシュ2、ブータン1、カンボジア3、インド1、ネパール2、フィリピン3

内容：「分権化における住民参加による保健の推進」をテーマに、各参加者の活動経験と課題意識に基づく研修を実施した。

\*各参加者の活動を取り巻く状況（健康問題の原因、保健政策の現状と課題、グローバル化の影響など）を分析し、その中で課題の解決に向けて住民が主体となった活動をどのように行うことができるかについて討論した。そのための住民組織の能力形成、地方行政や他の関係機関との連携の構築や政策提言の方策を考えた。

\*日本における健康課題への市民による取り組み、市民と行政の連携・協働を具体的な事例から学ぶため、名古屋市、日進市および尾張旭市（「WHO健康都市」）を訪問し、活動見学や意見交換を行った。

\*広島市を訪問し、第二次世界大戦とその前後の歴史を知るとともに、市民による平和教育・平和活動の取り組みを学び、「平和」を創り出すという側面から地域保健・開発活動における自らの役割について考えた。

\*これらを通して、各参加者が自分の地域、組織の課題解決に向けた方策を模索し、帰国後の活動計画を立案した。

## 2. 研修生へのフォローアップ事業

### 1) 英文ニュースレターの発行

元研修生や国内外の関係団体との関係を継続し、同時に元研修生間の活動経験の場として下記のように3回、各1000部発行した。毎号テーマを設定し、原稿を募った。

2014年5月：インド・リユニオン

-継続的な学習とネットワーキング-

2014年9月：フィリピン

-ヘルスプロモーション-

2015年2月：女性労働者をめぐる課題とNGOによる取り組み

### 2) リユニオンセミナー（国別研修生会合）の開催

同じ国内で活動する元研修生間の新たな学習およびネットワーク構築の機会として、今年度はインドにて開催した。企画立案、準備は元研修生有志によって進められた。伝統・代替療法を実践し普及に努めている元研修生がその知識やスキルを発表した。参加者はそれを学び、さらに自分の活動の中でどのように活かすかを考えた。フィリピンの元研修生2名（INAM所属・後述参照）も参加した。AHI職員2名が出張した。

期間：2014年11月17日～20日

場所：インド南部ケララ州

参加者：28名

協力団体・会場：AYUSHYA（カトリック系の伝統療法センター）

★なお、バングラデシュでもリユニオンセミナーを計画していたが、同国内の政情不安のため延期とした。

### 3) 国際ワークショップ

2012年度から協働事業（p. 3、④参照）を共に進める INAM 及びその事業地タナイ町が受け入れ団体となり、「持続的な地域保健システム構築への参加を通じた先住民のエンパワーメント」をテーマに開催した。元研修生とその活動パートナー（住民の保健ボランティア、地元の行政関係者）がフィリピンほか4ヶ国から参加し、現地での取り組みを学ぶと共に、経験交流を行った。期間中の山間地への訪問では、INAM が育成している保健ボランティアである先住民ドゥマガの女性たちが活動を紹介し、ホームステイを受け入れた。AHI 職員3名が出張した。

期間：2015年3月3日～3月10日

場所：ルソン島 リサール州タナイ町

参加者：30名（加えて現地関係者約20名）

\* INAM: Integrative Medicine for Alternative Health Care Systems, Philippines Inc.  
(代替医療総合医学センター)

#### 4) その他のフォローアップ

元研修生との関係の継続と、元研修生間の自発的な情報交換や学び合いを促すため、次のような働きかけや環境整備を行った。

\* AHI 職員・ボランティアが寄せ書きした誕生日カード及び年末グリーティングカードの送付

\* ホームページ上の「活動便覧」（特定の分野や国で他の AHI 元研修生の活動をウェブ上で検索できる機能）の充実および活用の促進。

### 3. 地域保健推進のための協働事業

元研修生による特定地域での開発事業に協力した。①～③は2010年度から、④は2012年度からの継続事業である。⑤～⑥は2014年度に開始した。

#### ①少数民族の人々のリーダーシップ育成 マリー・プリンシー（2009年国際研修参加）

#### ②の所属団体 Janawaboda Kendraya (JK) との協働

(スリランカ)

スリランカで社会的に低く置かれてきた「テリング」（インドからの移住民）の人たちのリーダーシップ育成、保健活動などを支援した。2013年度に新たに北東部のトリンコマレ地域に活動が広がったが、現地の周辺住民の理解が十分得られなかったため、同地域での活動は一時停止とした。よって、従来通り西部沿岸地域コロomboとニゴンボの2ヶ所で住民グループ育成のための活動を行った。

#### ②茶農園地域の教育環境への支援

元研修生所属団体 HDO (Human Development Organization)、Satyodaya との協働

(スリランカ)

スリランカ中部を中心としたティープランテーション地域は政府による開発が遅れ、そこで働くインドタミル（主にイギリス植民地時代にインドから移住してきたタミル人）の人たちは不利な状況に置かれてきた。元研修生が、活動地域にある公立学校と連携し、就学期の子どもたちの教育環境改善のための活動を行った。

具体的には、10年生（15歳）で受ける教育履修確認全国試験（普通過程）に向けての補習クラスの実施、教員、保護者の関心・協力体制を高めるためのセミナーを行った。2団体を通して計6校を支援した。

#### ③ヘルシーライフスタイルプロジェクト

元研修生有志 ANAK-NC との協働

(フィリピン)

ミンダナオ島北ダバオ州ニューコレリア町の4村において、行政と住民が協働する健康推進活動を支援した。当該地域においては、栄養・健康フェスタ、保健状況調査、健康推進員への研修などを行った。

2011年からの取り組みが認められ、2014年4月に町長が2016年までに活動を町全域に展

開するという方針を出し、その計画づくりに ANAK-NC のメンバーも参加している。

AHI からの呼びかけに応じて、健康推進活動の一環として 2014 年 10 月以降「100 日間ウォーキング」を同時開催した (p.7、4. 参照)。

AHI 職員 2 名が 2014 年 7 月に出張した。

#### ④保健ボランティア育成と代替医療の推進元 研修生所属団体 INAM との協働

##### (フィリピン)

ルソン島のリサール州タナイ町及びケソン州ジェネラルナカール町における先住民居住地の保健ボランティアの育成を行った。タナイ町では、事業開始からの 3 年間のまとめと振り返りを兼ね、町行政の全面的な協力のもと国際ワークショップを開催した。(p.2、3) 参照)

ジェネラルナカール町では現地のカウンターパートを従来のキリスト教会の関連グループ町行政に切り替えて、保健ボランティア育成の研修活動の計画を新たに作ることにした。

AHI 職員 2 名が 2014 年 7 月に出張した。

#### ⑤地域住民の社会心理的課題に対する意識向上とメンタルヘルス推進

##### 元研修生所属団体 Kopila Nepal との協働

##### (ネパール)

ネパールでは、メンタルヘルス (心理社会的健康) に関する人びとの知識も乏しく、精神疾患・知的障害への差別がある。行政の対応も不十分であり、適切な治療や支援が受けられず症状を悪化させている人びとも少なくない。

西部ポカラ周辺の 2 郡における当協働事業では、当事者および家族へのカウンセリングや自助グループ形成を行うと共に、メンバーの中で草の根カウンセラーを育成するための研修も実施した。また収入向上のためにグループによる生産活動も行った。

AHI 職員 1 名が 2014 年 11 月～12 月に出張した。

#### ⑥小規模 NGO の若手スタッフ育成

#### エイズ啓発協会 AIDS Awareness Society (AAS) との協働

##### (パキスタン)

2013 年の国際研修の参加者が AHI の研修の考え方や方法を応用して立案した、帰国後の活動計画の実現を支援した。次世代の人材育成を目的に、パンジャブ州、シンド州の小規模 NGO の職員を対象とした研修会を下記のように行った。

その後参加者の所属団体を訪問、フォローアップも実施した。

期間：2014 年 5 月 24 日～6 月 2 日

場所：ドミニコ修道会関連施設 (パンジャブ州ラホール市)

参加者：パンジャブ州、シンド州の小規模 NGO の若手スタッフ 16 名

AHI 職員 2 名が 2014 年 5 月 21 日～6 月 8 日に出張し、研修運営をサポートした。

## 4. アジア各国間での学び合い促進

アジア各国での経験を広く共有することができるよう環境整備の一環として、AHI が支援し実施された事業をまとめ、冊子を作成或いは増刷し、国際研修の参加者をはじめ関係者に配布した。

##### \*フィリピン SIAD 冊子の増刷・活用

ニューコレリア町における参加型まちづくり (SIAD) の経験をまとめた冊子 (2012 年出版) を増刷した。協力団体：IPHC

##### \*スリランカ PIADS 冊子の英訳・出版

プットラム県カルガラガスウェワ町における参加型地域開発 (PIADS) の経験をまとめた冊子 (シンハラ語 2010 年出版) を英訳し、出版した。協力団体：NAFSO

## 5. その他

##### \*パナソニック (株) への協力

2014年7月ソーラーランタンの寄贈先を紹介してほしいという依頼があり、カンボジア及びフィリピンの計3団体を紹介した。いずれも2014年度内に現品が手渡された。

#### \* 岐阜中ロータリークラブへの協力

同クラブが行う国際貢献事業の協力先としてフィリピン、ニューコレリア町を紹介し、2013年に引き続き、2014年11月同クラブメンバーによる現地訪問にAHI職員1名が同行した。

## B. 国内活動

国内活動では、潜在的に関心を持つ人を新たに掘り起こすため、多様なテーマ設定でのプログラム実施やフェイスブックなどインターネットを活用して広く情報が伝えられるよう努めた。しかしながらプログラムやボランティア活動に参加した人に、さらに財政支援を求めるのは難しく、ふさわしい方策を引き続き検討し協力を得ていくことが急務である。

### 1. アジア理解プログラム

#### 1) オープンハウス

2014年6月に立ち上げたボランティアによる実行委員会が企画・運営を担った。

当日は、東海地方に台風19号が最も接近する中での開催となったが、実行委員や参加団体、当日ボランティアの柔軟な対応により、例年より小規模ながら大事なく終えることができた。

当日は約150名のボランティア、外部18団体の参加、約400名の来場者が得られた。

開催日：2014年10月13日（祝・月）

場所：アジア保健研修所（AHI）

#### 2) 初めて始めて講座

国際協力、あるいはボランティアなどに関心のある「新規」の人を対象として、AHI活動紹介のための講座を毎月1回、第四土曜日に開

催した。ボランティア募集のサイトなどを利用して広報を行い、2014年度は計62名の参加者を得た。

当講座への参加後、AHIのボランティア活動や他のプログラムへの参加につなげるよう働きかけを行った。

### 3) AHI 講座

職員など関係者を講師として、アジア、国際協力等に関連するテーマを掲げ、下記のように実施した。

①「Bangladesh ツアー報告会～水と緑と人の豊かさを感じた10日間～」

ツアーメンバーがツアーでの体験と現地の状況を報告した。

開催日：2014年6月7日

場所：名古屋中央教会

参加者：15名

②「AHI職員・高田弥生が語る“ラダック”のタベ」

「天涯の地」と呼ばれるラダック（インド北部ジャンムー・カシミール州東部）の伝統的な暮らしと文化を紹介し、その保存と開発の両立について考えた。

開催日：2014年8月30日

場所：アジア保健研修所（AHI）

参加者：25名

### 4) アジアのNGOワーカーと語る集い

国際研修期間中、会員、地域の市民、ボランティアを対象に、同研修参加者をリソースパーソンとして、アジア各国の状況、NGOや住民組織による取り組みの内容を話してもらい、同時に日本の状況や課題に照らして考える機会とした。英語の通訳ボランティアも募り、30名以上が協力した。

日時：2014年9月27日（土）13:30～18:00

場所：アジア保健研修所（AHI）

参加者：39名

### 5) 巡回交流会

Bangladeshの元研修生と女性グループ

のリーダーを招聘し、東京、愛知をはじめとする各地で報告会を開いた。学校での授業を含む計 20 ヶ所において計 1200 名以上の参加者を得た。

期間：11 月 27 日～12 月 10 日

また、国際研修終了後、ブータンからの参加者メナクシ・ライさんを講師として、計 10 ヶ所でミニ巡回交流会を実施した。

期間：10 月 14 日～19 日

## 6) スタディツアー

インドの元研修生の協力を得て、スタディツアーを実施した。ホームステイなどを通して生活体験を持つと同時に、NGO が推進する地域開発活動を見学した。高校生から 70 歳代後半まで幅広い年代の参加があった。

AHI 職員 1 名のほかインターン 1 名が同行しツアーの運営にあたった。当初訪問先にバングラデシュを予定していたが、政情不安のため、急遽南インドに変更した。

期間：2015 年 3 月 21 日～30 日

参加者：16 名

## 7) 小学校への出前講座

2013 年度に引き続き、小学生向けの国際理解講座「体感！アジア -小学校への国際理解講座」が日進市公募提案型協働事業に採択され、市内 7 校で 5～6 年生を対象に行った。その他の学校からの依頼も含め、計 10 校で実施し、1000 名を超える小学生が授業を受けた。

アジア諸国に暮らす、自分と同世代の子どもの日常への共感を得ることをねらいとして、民族衣装の着付け、水運び体験のほか、識字や格差という課題をゲーム手法によって模擬体験する内容とした。

## 8) AHI 女子会

国際協力に関心のある人と新たな接点を作る場を設けることを目的に、「AHI 女子会」を 2014 年 4 月、6 月及び 2015 年 2 月に AHI

で開催した。それぞれ 10 数名が参加し、各自が取り組んでいる活動や自分の関心事などを自由に語る懇談の時間とした。

## 2. 情報および体験機会の提供

### 1) 情報誌『アジアの健康』の発行

アジア各地における元研修生の取り組みや AHI の活動を記事にまとめた。また、ボランティアやインターン、各地の支援者について積極的に紹介し、交流の場となるよう努めた。

年に 5 回、各回 4,000～5,000 部発行した。賛助会員による委員会が編集を担当し、月に 2 回程度編集委員会を開催した。

### 2) 情報誌『アジアの子ども』の発行

日本の子ども向け（小学校高学年・中学生が主対象）に、アジア各地での NGO 活動の状況を含め、現地の子どものたちの日常生活を伝えることを目的として、下記のように発行した。企画・編集は、賛助会員で構成する「アジアの子ども編集委員会」が担当した。各 5,500 部発行した。

\*2014 年 8 月発行「僕はジャバド、15 才」  
(パキスタン)

\*2015 年 2 月発行「明日を織る」  
(ネパール)

### 3) ホームページ運営とインターネットの活用

インターネット上の広報媒体として、ホームページ、ブログ、フェイスブックを運用した。団体として活動状況等はホームページに、日々の動きはフェイスブックに、AHI の事務所の様子などはブログにと、媒体ごとの性格を踏まえ発信した。

### 4) ボランティア/インターン受入れ

積極的にボランティアやインターンを受け入れ、NGO 活動に触れる機会を提供した。ボ

ランティア/インターンは、事務作業、民芸品管理、開発教育プログラムの実施など多様な業務を担った。

インターンは、大学等によるプログラムを通じた学生が5名、個人から直接申込みの人が4名。日進市内の県立高校2校から新任教員研修として計6名を2日間受け入れた。日進市内の中学校の職場体験として、中学生4名を3日間受け入れた。

また、日進市内の小学校教員1名が社会体験型教員研修として2ヶ月間(週5日)当法人の業務に携わった。

### 3. 他団体との協力

#### 1) 他団体への講師派遣

要請に応じて、AHI職員や関係者を講師として派遣した。また、積極的に他団体主催のイベント等に出展し、新たな人々と接点を作ることに努めた。2014年度の実績は次の通り。<巡回交流会(p.5参照)を除く>

- ・学校関係(中学～大学) 12件
- ・キリスト教会 1件
- ・諸団体 7件
- ・ブース出展等 7件
- ・グループでの来館受け入れ 7件

#### 2) 団体・ネットワークへの加盟

下記の諸団体に加わり、関連分野の活動をもに進めた。<>は職員の役職名。

- ・名古屋NGOセンター<理事>
- ・名古屋キリスト教協議会<書記>
- ・市民フォーラム21名古屋NPOセンター
- ・障害分野NGO連絡会<幹事>
- ・日比NGOネットワーク
- ・日本キリスト教協議会
- ・カンボジア市民フォーラム<世話人>
- ・開発教育協会
- ・あじさい会(日進市内の事業所交流会)
- ・ゆるやかネットワーク(日進市市民団体協議

会)<理事>

- ・パートナーシップサポートセンター
- ・にしん平和を考える会
- ・次世代の子どもたちの「いのち・暮らし・エネルギー」を考える会(日進市および近隣地域の市民グループ)

この他、AHI職員が次の団体の役職を務めた。

- ・社会福祉法人さふらん会<評議員>
- ・名古屋YWCA<評議員>

### 3) 他団体との協力による政策提言活動

東海地域のNGOネットワークである(特活)名古屋NGOセンターの加盟団体として、国際協力機構(JICA)や外務省等に対する政策提言活動に関わった。

このほか、カンボジア市民フォーラム、日比NGOネットワークに加盟し、当該国の開発に関連した諸課題について市民の関心を高めるための働きかけや、援助に関連した課題について政策提言活動を行った。

## 4. その他

### \*日進市市制20周年記念事業(補助金事業)

#### 「100日間ウォーキング」

健康に関連したテーマで、広く市民に関わってもらえることができるプログラムとして企画、参加チームを募集した。21組が参加。2014年10月13日オープンハウスにおいてキックオフを行い、100日間を経て、2015年1月31日の終了イベントをもって完了した。

## C. 法人運営

### 1. 理事会・評議員会

理事会を5回、評議員会を2回開催した。2014年度末現在、理事12名、監事2名、評議員12名である。

#### \*理事会

2014年5月31日

- 2013 年度事業報告案・決算案の件
  - 職員就業規則案の件
- 2014 年 8 月 26 日
- 代表理事および業務執行理事選定の件
  - 資金と支援者獲得のための方針検討の件

2014 年 11 月 15 日

- 2014 年度国際研修報告
- 職員募集の件

2015 年 2 月 9 日

- インド、ネパール出張報告
- 創立 35 周年事業検討の件

2015 年 3 月 16 日

- 2015 年度事業計画案・予算案の件
- 創立 35 周年事業及び記念募金の件

#### \* 評議員会

2014 年 6 月 20 日

- 評議員の辞任・選任の件
- 理事の任期満了による改選の件
- 2013 年度事業報告案、決算案の件

2015 年 3 月 30 日

- 評議員長選出の件
- 2015 年度事業計画案・予算案の件

## 2. 賛助会員募集・募金活動

2015 年 3 月 31 日付 賛助会員数 3,280 名

(うち、「ひとつかみサポーター」141 名)

寄付者数 636 名

公益事業の遂行のための経年の経費をまかなうため、下記のように賛助会員募集および募金活動を行った。

#### ■「ひとつかみサポーター」の募集

日常的な働きかけのほか、2014 年 12 月には過去 1 年間のプログラム参加者、ボランティア協力者等にボランティア感謝会の案内とともに、「ひとつかみサポーター」への協力を呼びかけるダイレクトメールを約 500 通送付した。

#### ■「想いを伝える遺言書の書き方講座」

支援者の高齢化、社会情勢の変化に伴い、支援者サービスの一環として実施した。

2014 年 5 月 10 日 18 名参加

2014 年 11 月 15 日 10 名参加

#### ■ 会費収入実績 計 14,972,989 円

(目標 15,700,000 円 達成率 95%)

##### a) 新規会費 218,511 円

(目標 150,000 円 達成率 146%)

\*従来 of 年会費制度による 114,511 円

新規 25 名 平均 4,580 円

\*ひとつかみサポーター 104,000 円

新規 19 名

##### b) 継続会費 14,754,478 円

(目標 15,532,000 円 達成率 95%)

\*従来 of 年会費制度による 13,442,478 円

(目標 13,600,000 円 達成率 99%)

1 件あたり平均約 6,328 円。年度当初の賛助会員数 (納入見込) に照らした継続率は約 68%。

\*ひとつかみサポーター 1,504,000 円

(目標 1,932,000 円 達成率 78%)

#### ■ 寄付金収入実績 計 35,544,924 円

##### 1. クリスマス・お正月募金

協力件数 1,679 件 協力額 16,556,053 円

(目標額 20,000,000 円 達成率 83%)

期間: 2014 年 12 月 1 日-2015 年 2 月 28 日

##### 2. 一般寄付

協力件数 496 件 18,988,871 円

内、2 件が 100 万円以上。